鹿児島学力・学習状況調査結果

実 施 日　令和 8 年 1 月 13 日, 14 日
実施学年　第 5 学年

＜結果＞

※数値は県の正答率との差

	国語	社会	算数	理科	平均
本校	0	8.6	9.5	2.7	5.6

＜考察＞

本校の正答率から県の正答率を引いて比較したところ，**ほぼ全ての教科において県を上回る結果**でした。

県との開きがなかった国語について細かく見ていくと，「読むこと」については県の正答率を上回っていました。本校は一校一改善として「読書を核とした情操教育と学力向上」を掲げ，学年相応の読書に向けて取組を行ってきました。5 年生は年間で一人 107 冊ほどの本を借りています。今回の結果と読書量に相関があるとすればうれしい結果です。一方，「話すこと・聞くこと」の領域は県を僅かに下回りました。問題形式では，記述式で解答する問題の正答率が低いようでした。

得点分布を見ると，どの教科においても，台形のような分布図を示します。このことから個々の能力差が大きいクラスであることが伺えます。

今回の学力・学習状況調査はタブレットで出題がなされ，タブレットで文字を打ち込んで解答する形式で行われました。今後も同様の形式で学力系の調査は行われていく方向にあります。

以上を踏まえ，次のことに留意しながら指導を進め，児童の学力向上に努めていきます。

- **授業改善（個別指導の時間確保　学び合う場の設定等）**
- **話し合いの目的や意図を確認しながら伝え合う。（学級会活動の充実）**
- **意図を明確にし，相手に伝わるように理由を挙げながら話す。（日常の発表での意識化）**
- **話し手の意図を汲み，注意を向けて聞く。（朝の会，帰りの会でのスピーチ）**
- **タブレット操作の技術力向上（キーボード入力，タッチペンの操作）**

子供たちの学力向上に向け，今後とも御家庭の御理解と御協力をお願いいたします。